

AviUtl を使ったミュージックビデオ制作

1. 目的・動機

YouTube に「手描き動画」という自分で描いた絵を動かして作られている動画があり、自分でも作ってみたいと思ったから。

2. 使用機器

- PC
- USB : データの管理をしやすいように使用
- iPad : イラストを制作するために使用
(ソフトウェア)
- AviUtl : フリーの動画編集ソフト
- ibis Paint : フリーで利用できるペイントアプリ

3. 研究過程

(1) AviUtl を導入する

- YouTube の動画を参考にして AviUtl をダウンロードする
- 動画で使用するフォントやイージングなどをダウンロードする

(2) 素材を用意する

■イラストを描く

- 動画で使いたいイラストを用意します。iPad を使って ibis Paint でイラストを描きました。



(図1) 制作したイラスト。キャラクターのポーズはアイドルの写真などを参考にして描いた。

- ・口の形を僅かに変更したものを用意して表情の変化を作る。(図2, 図3)



(図2) 表情変化前



(図3) 表情変化後



(図4) 他のキャラクターイラストも同様にして作成する。

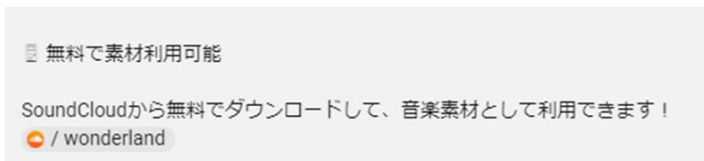


(図5) キャラクターだけだと寂しいので小物も描いた。

- ・構造が複雑な鞆や靴はフリー画像を参考にしながら描いた。

■動画に使用する音源をダウンロードしておく

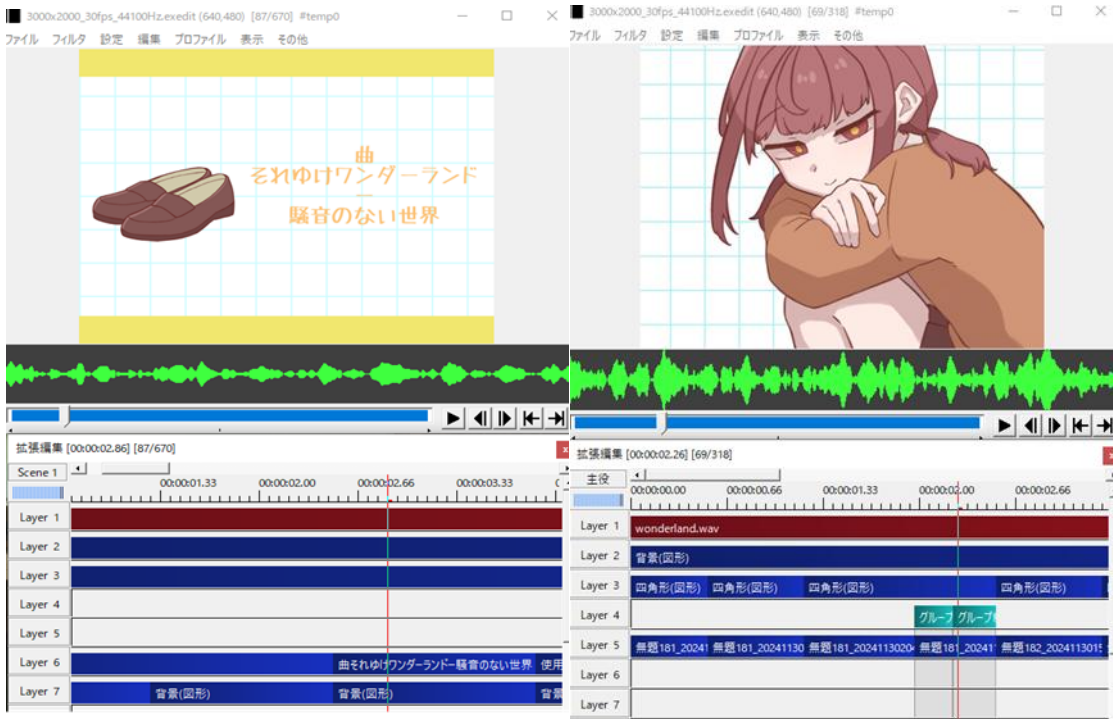
今回はフリーBGMの楽曲「それゆけワンダーランド」をお借りしました。



(図6) YouTube の概要欄からダウンロードしました。

(3) 動画を制作する

- ・ AviUt1 で、用意した素材を組み合わせて動画編集をします。



(図7) AviUt1 の作業画面

→YouTube で AviUt1 の使い方を確認しながら作業を進めました。

4. 研究成果

- ・ 動画をm p 4形式で出力しました。



(図8) 動画の一部を参照

5. まとめ・感想

始めは、After Effects で動画を作成していく方針でしたが、操作が慣れず作業が停滞したため、2学期の途中から動画編集ソフトを AviUt1 に変更しました。

課題研究で一番苦労した点は、AviUt1 の導入です。最初に導入するスクリプトに抜けがあり、動画が出力できない問題が出てきました。この問題は YouTube で導入の仕方を説明してくださっている動画を見返したため解決しましたが、この行動に至るまでに時間がかかってしまいました。そのため、作業できる時間が残り少なくなってしまいました。ですが、AviUt1 は画像とテキストの動かし方が同じなので、

文字 PV の作り方を解説している動画を参考にすることができました。なので、イラストの動かし方を理解することができ、動画編集の作業をスムーズに進めることができました。

作業が進み出した時期が遅かったため、課題研究発表までに間に合わないかもしれないと思っていましたが、なんとか期間内に完成にこぎつけることができたので安心しました。

6. 今後の課題

AviUtl は重くなりやすく、前回編集した動画のデータの一部が削除されてしまうことがありました。動画の容量が大きくなるほどソフトが落ちやすいので、こまめに保存したり、動画を細分化して最後にまとめたものを合成したりするなどの工夫が必要だと感じます。

<参考文献>

(AviUtl の導入)

- ・AviUtl の使い方【最短でマスターするための 10 ステップ】
- ・個人的におすすめなフリーフォント集【AviUtl】

(動画の演出)

- ・[Aviutl]はじけるやつのつくりかた。[円形配置の応用]
- ・aviutl で meme 系動画を作るときに知っておくと良いかもしれないコツ紹介動画
- ・[Aviutl] Meme っぽい動画のつくり方！[素材配布]
- ・【AviUtl】なめらかなモーションの作り方！(文字 PV 向け)